

Japan River Restoration Network News Letter

発行：日本河川・流域再生
ネットワーク事務局

〒102-0082
東京都千代田区一番町8番地
一番町FSビル3階
財団法人 リバーフロント整備センター内
Tel: 03-6032-7121
Fax: 03-6032-7456
E-mail: info@a-rr.net
URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

巻頭書記

平成20年度もまもなく終わろうとしています。

JRRNは、河川再生に関わる国内外の様々な情報循環及び人材交流の橋渡しを担うことを目的に、ホームページやニュースメール、また本ニュースレターを通じて、今年度も情報発信と情報共有体制の構築に努めて参りました。

引き続き、JRRN 会員皆様のご支援を受けながら、国内外の河川再生事例や水辺の活動を集積し、水辺

の再生に取り組む方々にとって有益な情報・技術の整備を図って参ります。合わせて、ARRN 事務局として、日本の優れた技術・経験をアジアに発信し、またアジアの素晴らしい事例を国内に還元する役割も積極的に担っていきたいと考えます。

引き続き、JRRN 会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

活動報告(1)

香港政府関係者の隅田川視察支援の報告

2009年2月20日(金)、香港特別行政区土木開発部(Civil Engineering and Development Department)の視察団一行が来日し、日本の都市部水辺再生の好事例として隅田川を視察するとともに、隅田川を管理する東京都建設局河川部を表敬訪問し、活発な意見交換が行われました。

今回の視察は、昨年7月に香港政府関係者よりJRRNに対し、日本における都市河川再生事例に関する問合せがあり、国内の様々な水辺再生事例を紹介する中で、視察目的に最もふさわしい河川として、隅田川への視察が実現したものです。



香港視察団との記念撮影(隅田川にて)

【1】 香港視察団の紹介

本視察は、香港の旧・国際空港跡地を水辺を軸に再開発するにあたり、先進事例として日本及び韓国の都市河川再生現場を調査し、またそれぞれの河川管理者との技術交流を通じ河川再生に関わる知見を習得することを目的に行われました。

視察団は、香港特別行政区土木開発部（CEDD）九龍開発事務所の Heung 副所長を団長に、CEDD の土木開発部・都市計画部・下水道部・文化観光部等、河川部署のみならず、下水道や都市計画と水辺整備の連携、また水辺を軸とした観光開発と言う視点からの幅広い専門技術者で構成されています。

【2】 香港における再開発事業の概要

現在、旧・香港国際空港跡地の再開発事業が CEDD により進められています。

この再開発地域の中央を、生活排水や雨水を処理する主要排水路である Kai Tak 川が流れ、この河川の水質を改善し、親水整備を図り、更には洪水対策も行いながら、川を軸とした地域の再開発を図る事業が予定されています。



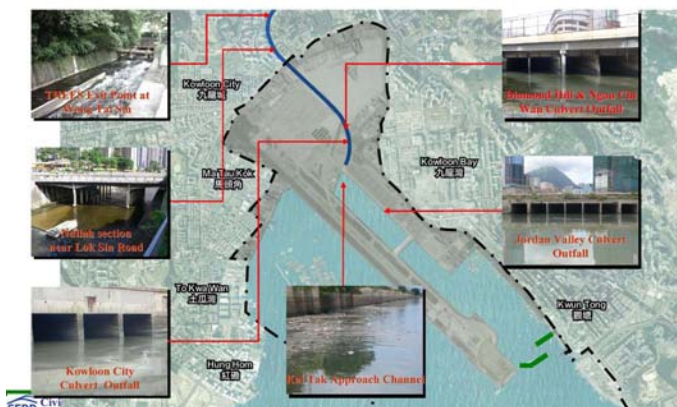
川を軸とした再開発の平面図（CEDD 提供）



再開発が計画中の旧空港跡地(CEDD 提供)



川を軸とした再開発のイメージ（CEDD 提供）



現在の Kai Tak 川の様子（CEDD 提供）

本事業の詳細は、以下のホームページでも紹介されています。（言語：英語）

●CEDD on-going projects

<http://www.cedd.gov.hk/eng/projects/major/kw/index.htm>

●Kai Tak Planning Review

http://www.pland.gov.hk/p_study/prog_s/sek_09/website_c hib5_eng/english/index_e.html

【3】 隅田川視察の概要

今回の隅田川視察は、年度末という多忙な時期にも関わらず、東京都建設局河川部の皆様のご協力により実現致しました。

<視察プログラムの概要>

●午前：

東京都建設局河川部会議室にて、隅田川整備の概要説明、香港事業概要の説明、及び水辺再生と河川管理に関する意見交換。

●午後：

東京都建設局河川部担当者による隅田川及び旧中川の現地案内。



東京都建設局河川部担当者によるスーパー堤防事業と河川整備の歴史に関する説明（午後）



東京都建設局河川部担当者による河川文化の説明



東京都建設局河川部による挨拶（午前）



東京都建設局河川部担当者による事業説明（午前）

午前の事業説明と意見交換、及び午後の現地視察共に、予定していた時間を大幅に超過する活発な交流が行われ、非常に有意義な視察となりました。

隅田川における東京都の長年の河川整備事業の歩みはもちろんのこと、現地での地域住民に対する河川情報提供方法等、香港で今後導入したい様々な事例を得ることができたとの感想を香港の方々より頂きました。加えて、河川管理者である東京都建設局河川部の方々の専門的かつ丁寧な説明は、河川管理者としてあるべき姿の手本として、アジアの社会基盤整備に携わる行政関係者として大いなる刺激になったことと思います。

最後に、今回の香港政府関係者の視察に対し、全面적으로ご協力頂きました東京都建設局河川部の方々に謝意を表します。

(JRRN 事務局 和田彰)

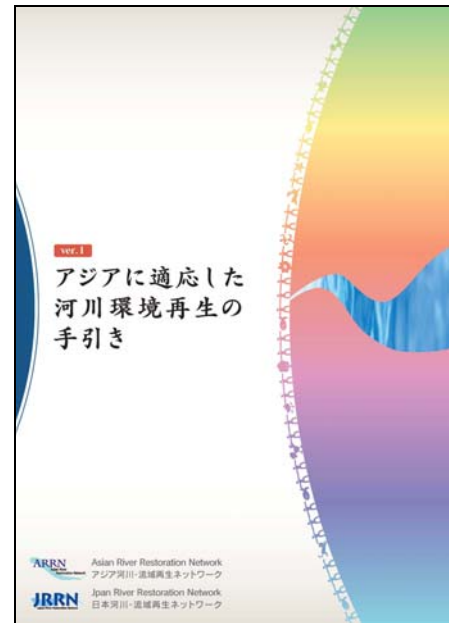
活動報告(2)

「アジアに適応した河川環境再生の手引き」作成進捗報告 その3

日中韓の河川環境分野専門家の助言を受けながら、JRRN 事務局が中心に作成を進めている「アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.1」がまもなく完成致します。

本手引きは、ARRN が今後作成を目指す「アジアにおける河川再生技術指針」の入門編として、非専門家の方々にも河川再生の意義やアプローチを理解して頂くことを目的に、写真や図を主体に平易な解説文を添えて作成致しました。

英語版については、今月中旬にトルコ・イスタンブールにて開催される「第5回世界水フォーラム」の場で関係者に配布します。また日本語版については、JRRN 会員を対象とした「第3回 JRRN 河川環境ミニ講座」として、春頃を目標に説明会と意見交換会を開催させて頂く予定です。本行事の詳細は、後日改めてお知らせ致します。



(JRRN 事務局 丹内道哉)

活動報告(3)

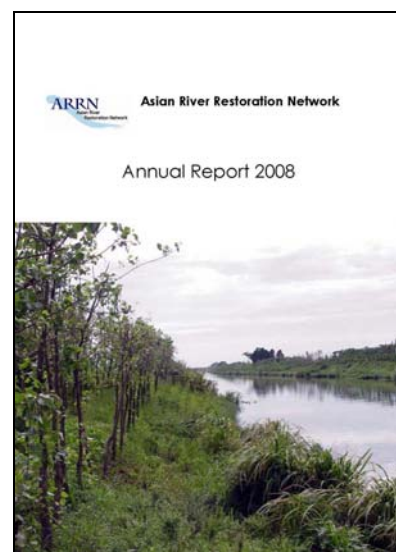
「ARRN 年次報告 2008」(英語版)が完成しました

ARRN (アジア河川・流域再生ネットワーク) の設立二年目 (2008 年) の活動報告を取りまとめた「ARRN 年次報告 2008」(英語版) が完成し、ARRN ホームページ上に公開させて頂きました。

http://www.a-rr.net/jp/en/arm/letter/annual_report/

本報告書では、ARRN を構成する日中韓の各国内ネットワークの年次報告も掲載され、2008 年の JRRN 年次報告も兼ねております。

日本語版は現在作成中で、3 月中には JRRN ホームページ上に掲載致しますので、本報告書を通じ JRRN の一年間の成長をご覧頂ければ幸いです。



ARRN 年次報告書 2008 (英語版)

(JRRN 事務局 和田彰)

会議・イベント等 (2009年3月)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

- 第3回 JRRN 河川環境ミニ講座「アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.1 説明会」(仮題)
 - 日時： 2009年4月～5月頃に開催(予定) 2時間程度
 - 会場： 財団法人リバーフロント整備センター 会議室
 - 主催： 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

(その他の河川再生に関する主なイベント)

- 第53回水工学講演会
 - 日時： 平成21年3月4日(水)～6日(金)
 - 会場： 芝浦工業大学 豊洲キャンパス
 - 主催： 社団法人 土木学会
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1184.html>
- やすらぎの水環境再生に向けて
 - 日時： 平成21年3月12日(木)
 - 会場： 大手町サンケイプラザ4Fホール
 - 主催： 環境省 水・大気環境局
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1174.html>
- 「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」平成20年度研究成果報告会
 - 日時： 平成21年3月13日(金) 10:00～16:30
 - 会場： コクヨホール(東京都港区港南1-8-35)
 - 主催： 伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発研究プロジェクト
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1189.html>
- 第3回釧路湿原自然再生シンポジウム
 - 日時： 平成21年3月14日(土) 14:00～17:00
 - 会場： 釧路市生涯学習センター 大ホール
 - 主催： 釧路湿原自然再生協議会
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1190.html>
- 東京の水の源流を探る～豊かな東京の水利用を支える日本の水、世界の水～
 - 日時： 平成21年3月14日(土) 13:00～17:00
 - 会場： 時事通信ホール
 - 主催： 財団法人東京顕微鏡院
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1181.html>
- 第130回 河川文化を語る会「災害文化の創出を目指して」
 - 日時： 平成21年3月16日(月) 18:00～20:00
 - 会場： 厚生会館(全国土木建築健保)
 - 主催： (社)日本河川協会
 - <http://www.a-rr.net/jp/event/03/1183.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■ 川の百科事典 (2009.1 発行)

- ・ 編集： 高橋裕
- ・ 出版社： 丸善
- ・ 発行年月： 2009年1月
- ・ 価格： ￥15,750 (税込)
- ・ ISBN-13: 978-4621080412



本書は、川に関する学術用語から、川遊びや川の命名理由に至るまで、川に関するすべてが漏れなく紹介されています。川に興味を持つ子どもから研究者・技術者までが満足できる川の辞典です。

■ 水辺のミュージアム vol.2 (2009.1 発行)

- ・ 発行： (財)リバーフロント整備センター
- ・ 価格： 無料



全国の「水辺」にかかわる資料館・博物館を紹介した冊子「水辺のミュージアム」の第二弾が発行されました。一見して捉えにくい水辺の魅力や展示方法をわかりやすく紹介しています。

本書をご希望される方は、「(財)リバーフロント整備センター技術普及部」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。
電話：03-3265-7121 / Fax：03-3265-7456

事務局からのお知らせ

JRRN の活動にご関心のある方、また国内外の河川再生の情報に興味をお持ちの方は、是非 JRRN にご加入下さい。会員資格は下記の通りです。

■ JRRN の登録資格

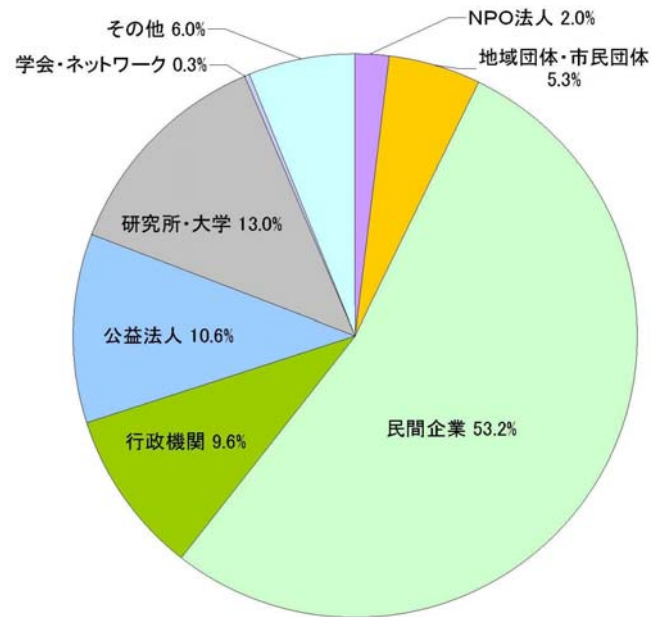
JRRN への登録は、個人、団体を問わず無料です。

市民団体、NPO 法人、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、積極的に河川環境の整備・改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に1回～2回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。



2009年1月31日時点の個人会員構成

【問い合わせ先】

日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN) 事務局
財団法人リバーフロント整備センター 技術普及部内
東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル

Tel: 03-3265-7121 Fax: 03-3265-7456

E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

■ 会員登録方法

以下のホームページより個人・団体会員登録が可能です。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>